

何のために模倣品対策をするのか？

利益に繋げる！中国模倣品対策の実務

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2019年 7月 8日(月) 13:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《開催にあたって》

調査会社において多数の調査・摘発案件に関与した経験、弁護士として多数の知財訴訟に関与した経験を有する講師が、単なる法律論だけでなく、現場の実務に基づく具体的な対応方策案を具体例を交えて紹介します。利益に繋がる模倣品対策を実施するためには、①正しく模倣品対策の意義を理解した上、②最小のコストで最大の効果を上げる戦略、戦術を取り、かつ、③それらを誠実な代理人に実行させることが必要です。机上の空論ではなく、実効性のある実務をご紹介します。

講師 弁護士法人キャスト パートナー 弁護士・弁理士
上海致昇商務諮詢管理有限公司 総経理 島田敏史 氏

講師紹介
中国・ASEANの「調査」と「知財」「法務」を専門とする日本国弁護士。2011年に渡中後、知財案件に関して2,000件以上の案件に関与。自らの調査会社による調査・証拠収集・公証手続から摘発、審判・訴訟といった法的対応までワンストップで対応。クリアランス調査や先使用权確保、無効鑑定といった知財予防法務のほか事業活動・投資活動についても多数サポート。中国・ASEANの模倣品対策の実績多数。



《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191385-0303 (※) 利益に繋げる！中国模倣品対策の実務

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F

・プログラム・

1. 誤ったイメージをなくすことから

- (1)「模倣品がなくなれば売上が上がる」は嘘である
- (2)「模倣品がブランドを傷つけている」は嘘である
- (3)「模倣品の質は劣悪」は嘘である
- (4)「中国人は模倣品が好き」は嘘である
- (5)「模倣品の製造元を止めれば模倣品はなくなる」は嘘である
- (6)「模倣業者は巧妙化を進めている」は嘘である
- (7)「模倣品はなくなるならない」は嘘である
- (8)「調査会社に騙されていない」は嘘である

2. 模倣品対策の意味

- (1) 模倣品が出る理由
- (2) 模倣品をなくすことで得られる利益
- (3) 無駄な対策の例
- (4) 模倣品対策の正しい意味の見つけ方
- (5) 必要最低限のコストの考え方

3. 模倣品対策の「戦略」

- (1) 被害状況の把握、被害の「質」と「量」
- (2) エンフォースメント手段の使い分け
- (3) 真正品販売による模倣品排除
- (4) 啓蒙による模倣品排除
- (5) 広告による模倣品排除

4. 模倣品対策の個別戦術例

- (1) 効率的な模倣品被害調査の具体例
- (2) 警告状送付だけでの解決事例
- (3) 行政摘発、刑事摘発におけるコスト削減例
- (4) 効率的な水際対策の具体例
- (5) 効率的なインターネット上の模倣品対策例
- (6) 広告、啓蒙、真正品販売による模倣品排除事例
- (7) ASEANと連動した模倣品対策事例

5. 中国調査会社との付き合い方

- (1) 中国調査会社の実態
- (2) 何をどこまで調査できるのか?
- (3) 料金相場
- (4) 嘘の報告をするというのは本当か?
- (5) 虚偽案件の見抜き方
- (6) 正しい調査会社との付き合い方

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。